

# 山口証券印刷株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"><li>● 業種：印刷業</li><li>● 事業概要：鉄道乗車券、ギフトカード等の有価証券印刷</li><li>● 事業規模：従業員数約70名</li></ul>
2.削減目標案	<p>&lt;Scope 1・2 の削減目標と削減に向けた取り組み&gt; 大幅な削減効果が期待できる再エネ電力調達を比較検討し導入する。具体的な目標値は今後算出する予定。</p> <p>&lt;Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み&gt; 現在削減内容検討チームを立ち上げ、具体的な削減方法を検討中。</p>

# 山口証券印刷株式会社

項目	内容	
3.基準年のGHGインベ ントリ[数値は 任意]	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Scope 1・2・3の排出量の状況                              スコープ/カテゴリ別排出割合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE1 :                              27.3[tCO<sub>2</sub>]</li> </ul>
	<p>A pie chart illustrating the distribution of GHG emissions across three scopes. The chart is divided into three segments: a small blue segment for Scope 1 (2%), a large orange segment for Scope 2 (45%), and a large grey segment for Scope 3 (53%). A legend to the right of the chart identifies the colors: blue for Scope 1, orange for Scope 2, and grey for Scope 3 (Category 1).</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE2 :                              747.9[tCO<sub>2</sub>]</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCOPE3 :                              871.8[tCO<sub>2</sub>]                              目標の対象セクター：                              なし</li> </ul>

# 山口証券印刷株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none"><li>● 今後制定される気候変動に関連した法案・法令への準拠対応が遅れ、安定した製造ラインの確保が出来なくなる恐れがある。</li><li>● 取引先からの気候変動に関する削減要求に柔軟に対応できない可能性がある。</li><li>● 再生可能エネルギーの導入によって、エネルギーコストや製造コストの削減が期待できる。又、環境に配慮した企業イメージを対外的にアピールできる。</li></ul>
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"><li>● 経営陣に加え各拠点の責任者を交えて中長期的なCO2削減目標を検討。将来的にSBT水準の削減目標を設定することを検討する。</li><li>● 会社全体でCO2削減に取り組む事により従業員の環境に対する意識改革が期待できる。</li></ul>

# 山口証券印刷株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none"><li>● 2018年度のScope1・Scope2及びScope3（カテゴリ1）の排出数量を算出し今後の課題・対応策を社内にて検討した。</li><li>● 再生可能エネルギー電力の導入が最も効果的で大幅な削減量が見込めるという結論に至ったが導入・継続する中でのコストについて一部からリスクが残存するという声も挙がった。</li><li>● 上記と平行し、CO2削減についての全社員への教育を行いより一層環境に対する事案について活発な議論が行えるよう努めた。</li></ul>
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>● Scope1及び2の削減として導入案のあった再生可能エネルギー電量についてより具体的な導入方法を検討する必要がある。</li><li>● 又、導入するにあたって生じるリスクの洗い出しも必要である。</li></ul>